

認定特定非営利活動法人
経営支援NPOクラブ
活動内容のご紹介

www.ka-npo.com/

Timeline ～歩み

NPOクラブ 20年の歩み

※赤字は NPO クラブ・社会のトピックス

社会の出来事



アメリカ同時多発テロ



愛知万博



大貫 義昭

2001
(平成13年)

4月 小泉第一次内閣(第87代)発足

9月 アメリカ同時多発テロ発生

2002
(平成14年)

5月 日韓共催FIFAワールドカップ
(サッカー)開催

10月 北朝鮮拉致被害者5人
一時帰国

6月 大貫義昭(初代理事長)が
仲間20名とNPOクラブ
を設立

10月 東京都よりNPO法人とし
て認証される

4月 日経平均株価最安値7,607円

12月 自衛隊イラク派遣

2003
(平成15年)

5月 第1回定期総会開催、正会員67名(23社)、
賛助会員21社参加

5月 マスコミ各紙に取り上げられ、200超の
問い合わせがあり、80の団体と面談

8月 アテネオリンピック

10月 新潟県中越地震(M6.8)

2004
(平成16年)

5月 鹿沼商工会議所、栃木県庁、日本商工会議所等再委託される

6月 経営企画委員会発足

3月 愛知万博開催

2005
(平成17年)

4月 東京商工会議所とOB人材マッチング事業サービス契約

5月 経営戦略委員会にて7グループでの活動開始

1月 ライブドアショック

2006
(平成18年)

3月 ニュースレター第1号発行

7月 新潟県中越沖地震(M6.8)

2007
(平成19年)

3月 NPO クラブ中期3カ年経営計画

4月 後期高齢者医療制度発足

9月 リーマンショックで世界的不況

2008
(平成20年)

5月 2代目理事長に荻田浩が就任

5月 特定支援会員制度発足

1月 米民主党オバマ大統領就任

9月 民主党 政権交代実現
鳩山内閣(第93代)

2009
(平成21年)

9月 KE会(環境・エネルギー)、
IK(医療・介護)研究会等
と研究会活動が活発化

6月 小惑星探査機
「はやぶさ」帰還

2010
(平成22年)

3月 大手町NSビルより現在の
内神田TKビル6Fに事務所移転

3月 東日本大震災(M9.0)
東電福島原発事故発生

11月 戦後最高の円高75円

2011
(平成23年)

4月 福幸プロジェクトを立ち上げ、東北復興支援に取り組む

4月 「明日を考える会」による組織再編(A・B・C・Dグループ)

5月 東京スカイツリー完成

11月 中国習近平主席就任

2012
(平成24年)

5月 東北ハンズオン支援事業・首都圏阪路開拓支援事業(TS)を受託

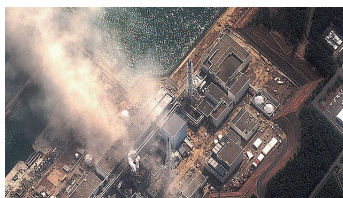
10月 10周年記念事業 大手町サンケイプラザにて開催

5月 長嶋茂雄、国民栄誉賞受賞

9月 2020年東京オリンピック開催決定

2013
(平成25年)

6月 東京都より「仮認定特定非営利活動法人」
として仮認定取得



東日本大震災



東京スカイツリー

3月 ロシアがクリミア占領

4月 消費税5%→8%へ

2014
(平成26年)

5月 3代目理事長に
世良正が就任

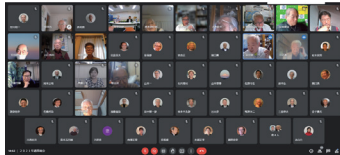
5月 関西グループ発足、
10月に6名でスタート



世良 正

NPO クラブ 年譜：2002（平成14）年～2022（令和4）年

NPOクラブの活動



オンライン臨時総会



関西グループ発足



5月 第20回通常総会をリアルで開催
10月 20周年記念事業イベント

2022
(令和4年)

2月 北京冬季オリンピック
2月 ロシアがウクライナに侵攻

6月 福島廃炉プロジェクト受託
12月 認定NPO 更新5年間

2021
(令和3年)

3月 東日本大震災10年
7月 東京オリンピック開催

助川 英治



4月 新型コロナ対策として
「会議は原則オンラインで実施」
7月 オンラインの臨時総会にて
5代目理事長に助川英治が就任

2020
(令和2年)

4月 新型コロナ感染で東京を含む
7都道府県に初の緊急事態宣言発出
12月 米民主党バイデン大統領就任

4月 関西グループ事務所開設

6月 「10年後のNPOを考える」会 (平成31年、令和元年)

2019

5月 平成→令和へ元号代替わり

10月 消費税8%→10%へ

山口 浩利



5月 4代目理事長に
山口浩利が就任

11月 NPO事務所を6F→1Fに移転

2018
(平成30年)

6月 米朝初の首脳会談(シンガポール)
10月 築地市場→豊洲へ移転

6月 メルマガ通信第1号配信開始

6月 平成29年度地域中核企業創出・
支援事業を関東経産局他より受託

2017
(平成29年)

7月 都議選にて「都民ファーストの会」大勝、小池ブームとなる
10月 衆院選自民党大勝、民進党分裂

2016
(平成28年)

7月 Google のG-Suite の情報共有化開始

12月 東京都より認定NPOの資格
(28生都管第1187号)を取得

4月 熊本地震(M7.0)

11月 米国共和党トランプ大統領選出

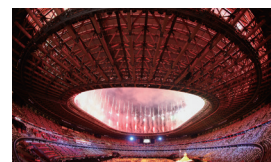


新型コロナウイルス感染爆発

2015
(平成27年)

8月 NPOクラブ最大の大型案件
KFIP(介護・福祉機器プロジェクト事業)を
経済産業省より受託

11月 「再生可能エネルギーフォーラム・土湯温泉 2015」
福島にて参加者314名



東京オリンピック開催

6月 公職選挙法改正18歳以上選挙権

12月 新国立競技場・隈研吾設計に決定



平成から令和へ

法人概要及び沿革

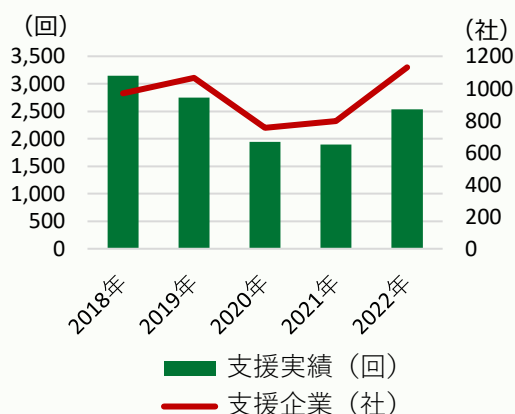
■概 要

設 立：2002 年 10 月
 代 表 者：理事長 助川 英治
 会員出身企業：約 200 社（17 ページ参照）
 会 員 数：約 240 名
 賛助会員企業：7 社
 特定支援会員：53 社

■主な活動内容

- 中小企業支援活動
 - ・販路開拓支援・事業化支援
 - ・経営支援、新製品開発助言、生産性・品質向上等
- 次世代育成支援活動
 - ・企業、自治体等の関連機関及び教育機関が実施する講演会・セミナーへの講師派遣

■活動実績



	2018 年	2019 年	2020 年	2021 年	2022 年
支援回数	3,149	2,750	1,941	1,896	2,544
支援会社数	968	1,066	754	797	1,103

■沿 革

2002（平成 14）年 6 月	大貫義昭（初代理事長、三井物産 OB）が仲間 20 名と語り中小企業支援事業を目指した NPO クラブを設立
2002（平成 14）年 10 月	東京都より、NPO 法人としての認証を取得
2008（平成 20）年 5 月	二代目理事長に荻田浩が就任
2010（平成 22）年 3 月	現在の事務所（千代田区内神田 1-5-13 内神田 T K ビル）へ移転
2012（平成 24）年 10 月	10 周年記念講演会（JAXA 川口教授）を開催
2013（平成 25）年 6 月	NPO 法改正に伴い、「仮認定特定非営利活動法人」として仮認定取得
2014（平成 26）年 5 月	三代目理事長に世良正が就任
2014（平成 26）年 5 月	関西地区の活動強化を目的に、関西グループ発足
2015（平成 27）年 4 月	厚生労働省より「有料職業紹介事業」の許可取得
2016（平成 28）年 12 月	東京都より認定 NPO の資格（28 生都管第 1187 号）を取得
2018（平成 30）年 5 月	四代目理事長に山口浩利が就任
2019（平成 31）年 4 月	関西グループ事務所（大阪市淀川区西中島 4-6-29 第 3 ユヤマビル）を開設
2020（令和 2）年 7 月	五代目理事長に助川英治が就任
2021（令和 3）年 12 月	東京都より認定 NPO 法人資格の更新（3 生都管 1180 号）
2022（令和 4）年 10 月	NPO 法人設立 20 周年記念事業を実施

活動理念と内容

■活動理念

- 中小企業の経営支援と次世代育成支援を通じて社会に貢献することを基本理念とする。
- 社会に貢献する気概を持つ会員の自由な活動を尊重し、その達成感を大切にすることにより、企業 OB・OG の自己活性化を図る。
- それぞれの専門分野の対応ばかりでなく、相互啓発による総合力・システム力により、新しいビジネス分野に向けて提案していく。

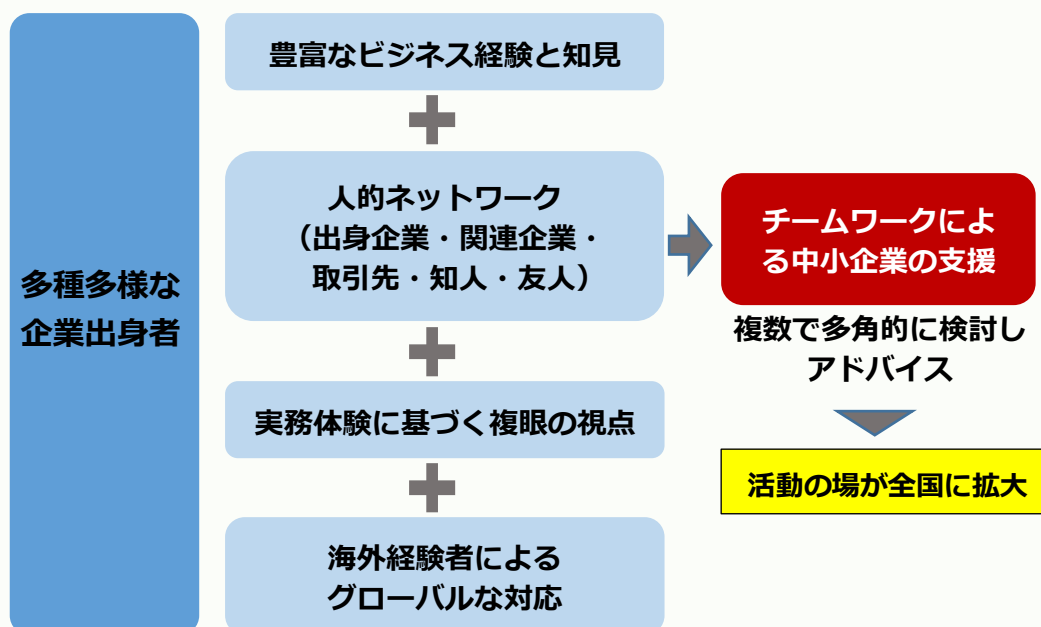


■支援内容

- 販路開拓・・・商品に即した対象企業へのビジネスマッチング、発注企業への訪問・紹介。
- 展示会商談会・・・展示会・商談会のサポート、来場企業招致など。
- お気軽な経営相談・・・事業計画策定、市場状況調査、生産・品質向上対策等。
- 講演会・・・実践的な課題をテーマにした講演やセミナーの実施。
- 海外・国内ポータルサイト開設・支援、補助金制度活用、事業承継、各種研究会による支援。

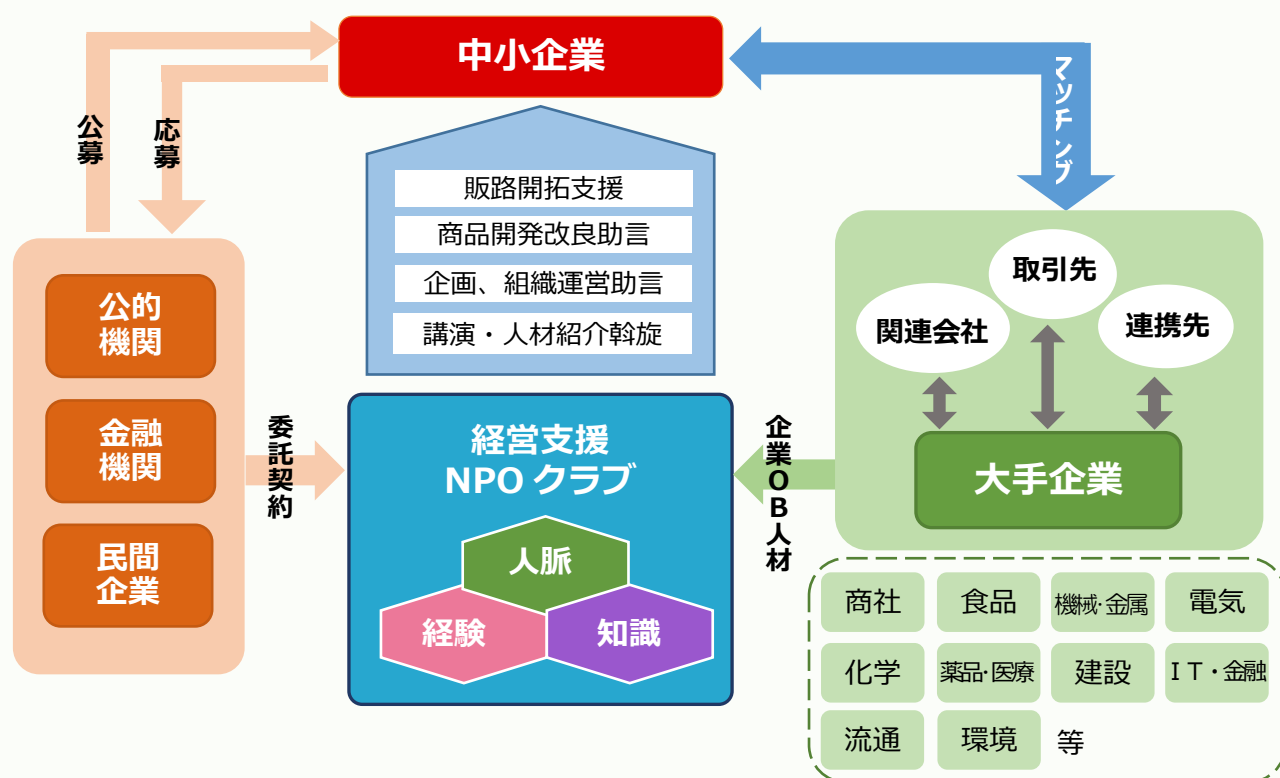
経営支援 NPO クラブの特徴

- 多岐にわたる業種と専門分野への支援が可能です。



支援相関図

■ 人脈・知識・経験を活用してチームワークによるマッチングや経営支援を行います。



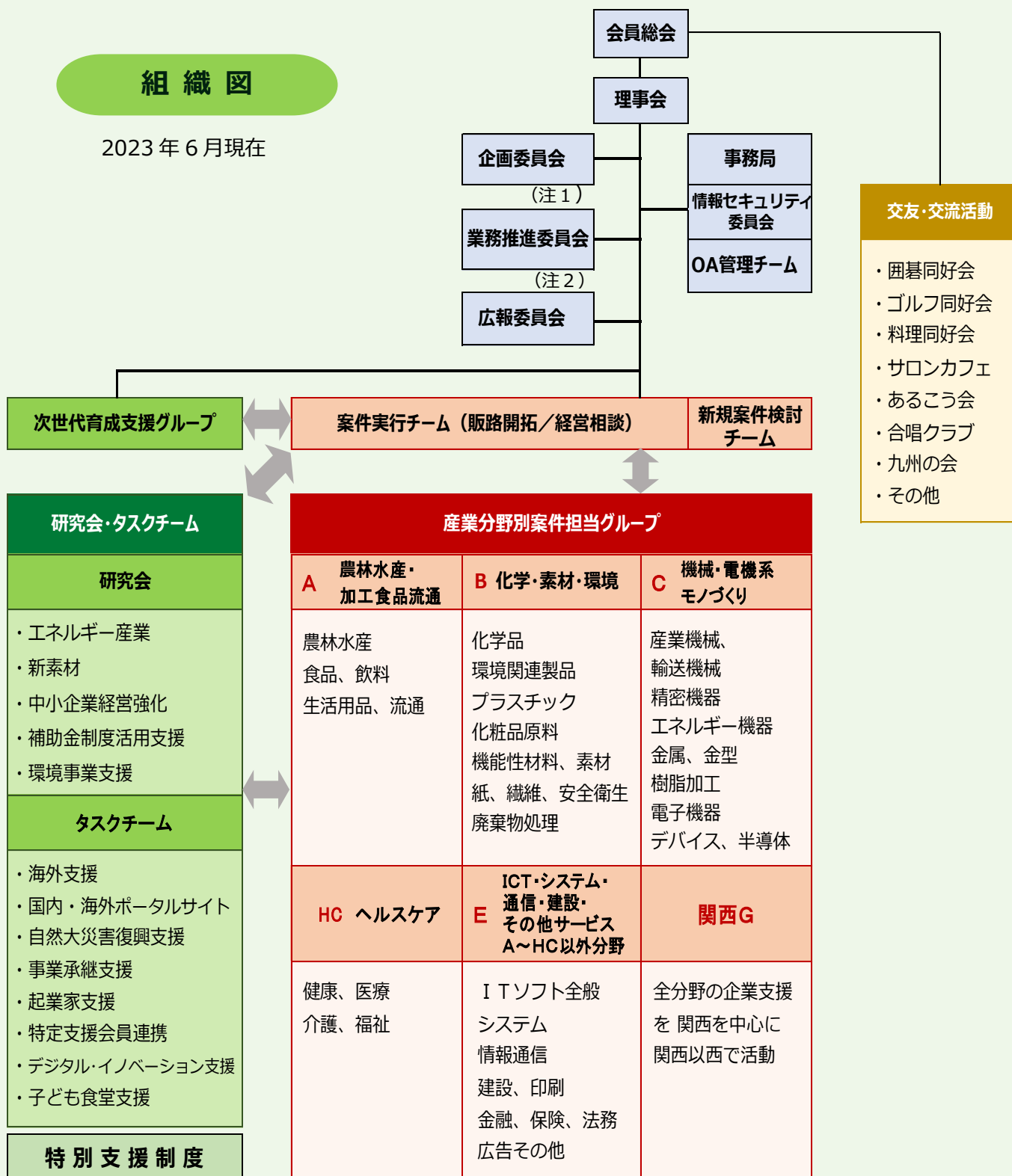
主な受託機関

No.	受託機関
1	経済産業省（福祉・医療プロジェクト）、北海道経産局、東北経産局、関東経産局、中部経産局、近畿経産局、中国経産局、四国経産局、九州経産局
2	環境省（土湯温泉プロジェクト）、復興庁（東北地区信用金庫協会受託）、福島イノベーション・コースト構想推進機構
3	地方自治体 県 （北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、富山、石川、山梨、長野、静岡、愛知、岐阜、三重、滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫、鳥取、島根、岡山、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知、福岡、大分、佐賀、長崎、沖縄） 市・区 （札幌市、仙台市、鹿沼市、藤岡市、川口市、川崎市、大阪市、大田区、板橋区、北区、文京区、練馬区、豊島区、足立区、葛飾区、台東区）
4	公益法人 （北海道、21 あおもり、みやぎ、福島、栃木、つくば、日立、諏訪、新潟、板橋区、川崎市、三重、ひょうご、わかやま、広島、岡山、鳥取、四国・STEP、かがわ、とくしま、山口、大分、長崎、日本立地センター）
5	中小企業団体中央会 （北海道、山形、宮城、福島、富山、岡山、香川、愛媛、徳島、高知）
6	商工会議所 （鹿沼、ひたちなか、いわき、浜松、三鷹）
7	金融機関 （東北地区信用金庫協会、足利銀行、栃木信用金庫、つくば銀行、八千代銀行、城南信用金庫、城北信用金庫、埼玉縣信用金庫、大阪府信用金庫協会、南都銀行）
8	企業他 （アルパック、大樹生命、帝国データバンク、日本能率協会、ドウリサーチ研究所）

運営組織

組織図

2023年6月現在



(注 1) 企画委員会

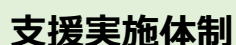
重要事項や会員からの提言の具体案を検討、理事会に提案

(注 2) 業務推進委員会

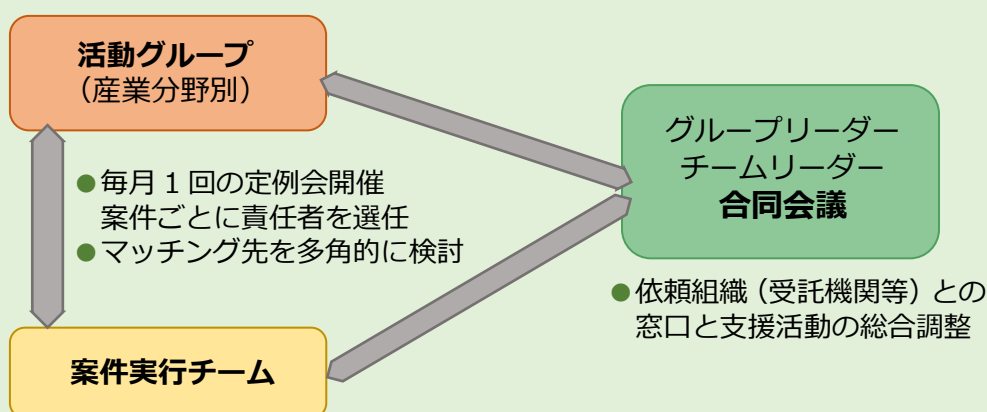
受注案件の精査、担当グループの決定など (業務遂行)

案件担当グループ^o（産業分野別）

■産業分野別の5グループと全分野について関西以西で行う関西グループを合わせ、6グループで構成され、案件実行チームと連携して販路開拓、展示会支援等の企業支援を実施。



実務経験のあるメンバーがチームを組んで対応します



Aグループ
(農林水産、食品他)

支援業界は主に、農畜水産業、酒類・飲食料品、機能性食品、生活用品。流通業への販路開拓（マッチング面談）を実施。他にスーパーマーケットトレードショーなどの展示会、商談会へ企業招致活動がある。グループメンバーは90数名。



B グループ
(化学、素材、環境)

各案件チームからの個別連絡等により案件ごとの選任担当者を決め、販路開拓支援、商品開発改良助言等による支援活動を推進。メンバーは90数名。

特定支援会員企業12社に対するきめ細かい対応により、満足度の向上を図る支援を実施。

環境分野は今後重要度が高まる分野であり、環境事業支援研究会及び他グループと連携を取り進めている。

Cグループ
(機械、電機)

主にもものづくり企業への支援活動を実施。

メンバーは100数名。

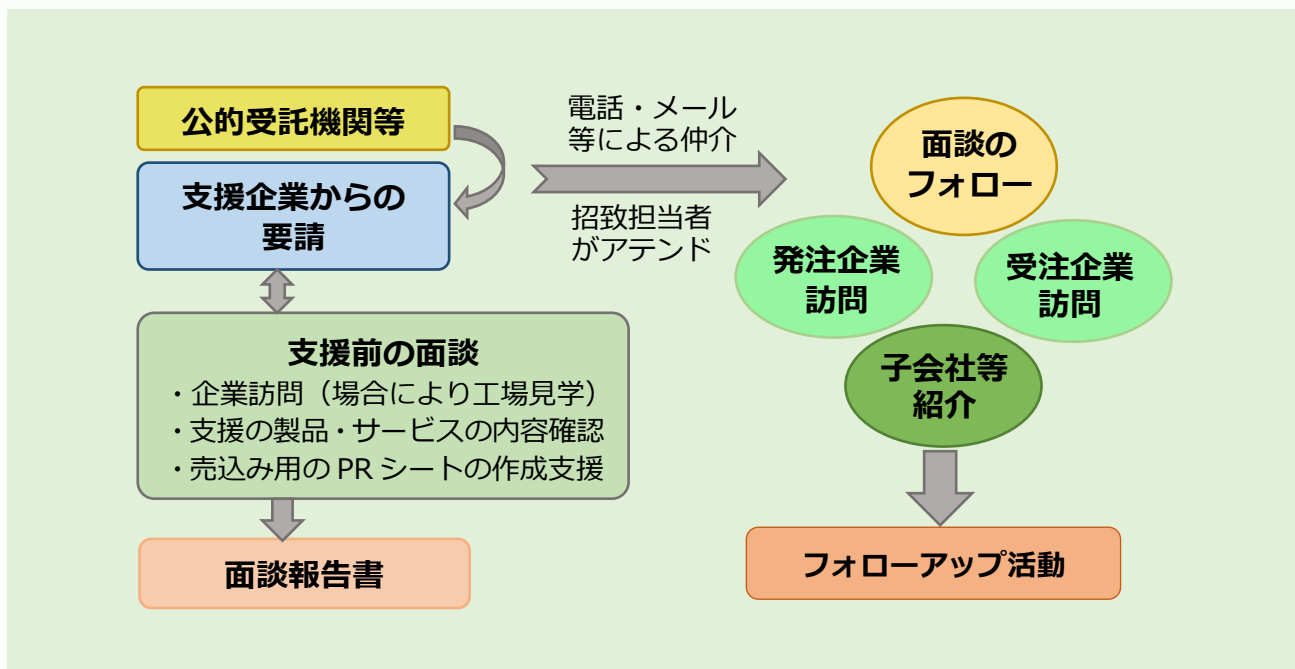
各地域案件他、特定支援会員企業20社、一般支援企業10社を担当。

販路開拓（マッチング面談）中心の支援活動から現場改善、生産性向上、事業戦略、販売戦略などへと企業の要望が多岐にわたってきており、対応の強化を図っている。

案件担当グループ（産業分野別）

■展示会、商談会での面談

展示・商談会会場に商品に即した企業（発注企業）を招待して、出展ブースで紹介するケース。商品を実際に見せて商談できるメリットがある。



HCグループ （医療、介護）

健康長寿社会形成に向けて、ヘルスケア分野に関する支援要望が数多く寄せられていることから、2021年4月に、組織強化を行い75名体制でスタート。現在約80名。

外部講師による勉強会をはじめ関連機関からの情報収集を行い参入支援や販路拡大など伴走支援の強化を推進している。

Eグループ （ICT、その他）

担当分野はICT、システム、情報通信、建設、印刷 その他サービス、A～HC以外の分野とを担当。

2022年度実績は、195回の支援を、また特定支援会員30回の支援を実施しました。

各分野の専門家を含め、約120数名のメンバーにて、情報交換を行いながら活動。

関西グループ （全分野）

全分野の企業支援を、関西以西で活動。総勢46名のメンバーにより販路開拓支援などを中心に活動。

東京を含め関西地域以外のメンバー（石川、福岡）の参加を得て全国展開が可能。



中小企業支援活動の事例

金融機関（足利銀行・栃木信用金庫）受託事業

足利銀行主催「ものづくり企業展示・商談会 2022」

事業概要：

- ・栃木県内の金融機関、栃木県、栃木県信用保証協会及び栃木県中小企業団体中央会のネットワークを活用し、地元製造業を招いて開催する展示・商談会。

出展企業：機械加工・金型・装置・制御関係等々の 184 社

活動内容：上記出展企業への企業招致、マッチング面談等



栃木信用金庫「とちしんどリームマッチング 2022」

販路拡大を希望する栃木信用金庫顧客 5 社（食品系：3 社、モノづくり

技術系：2 社）に対する販路開拓支援およびコンサルティング。



■ マッチングの流れ

依頼先企業との面談・訪問

マッチング先選定・事前準備

マッチングに際して、プレゼン等への助言

マッチングの立ち会い

フォローアップ

東京都「組合まつり 2022」受託事業

主催：東京都中小企業団体中央会 等

（NPOクラブの受託先は、S コミュニケーションズ
経由 NN 通信社）

事業概要：

- ・東京と全国の中小企業組合が集まり、各々の魅力発信を通して事業の活性化を目的とする「技と食の祭典」リアル展 2 日間、オンライン 24 日間

活動内容：

- ・リアル展（東京フォーラム）でマッチングコンシェルジュ業務
- ・ブース訪問での商談会。リアル展示場に企業を招致し各出展企業ブースに案内、商談を実施する。
- ・出展者事前相談会、出展者からの相談を事前に把握（オンライン相談）、具体的な解決策を提示。
- ・NPO クラブ専門家によるブース訪問、22 名が出展ブースを回り、今後の支援活動（販路先紹介等）の可能性を探る。



中小企業支援活動の事例

「しずおか食の大商談会 in 東京」受託事業

事業概要：

- ・静岡の5市2町（静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町）から集まった事業者による食に関する商談会。

会場：秋葉原 UDX

- ・コロナ禍で休止していたが、2023年1月25日に復活開催。

活動内容：

- ・バイヤー企業を招致、出展企業との商談への立ち会い・面談。
- ・上記商談会に先立ち、事前説明会（リアル・オンライン）を出展企業向けに実施。



商談会場

兵庫県尼崎市「あまがさき産業フェア」受託事業

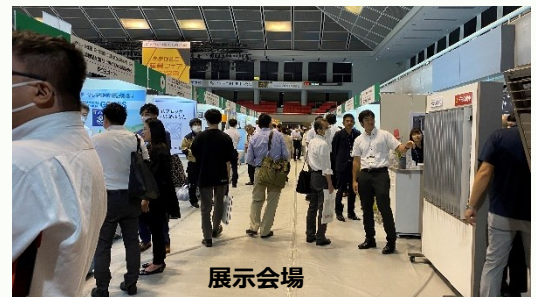
主催：尼崎産業フェア実行委員会（尼崎市、尼崎信用金庫他）
（NPO クラブの受託先は、（公財）尼崎地域産業活性化機構）

事業概要：

- ・尼崎市内の産業の情報発信・取引拡大を目的として実施。
- ・展示会、商談会の開催。テーマは「会いたくなる技術がいっぱい尼崎！」尼崎から世界に羽ばたく企業を支援。

活動内容：

- ・2023年7月開催の「あまがさき産業フェア 2023」内にて開催のビジネスマッチング会へのバイヤー企業の招致および出展企業との面談・立ち会い。
- ・NPOクラブブース（相談コーナー）での相談受付・面談対応。



展示会場



ビジネスマッチング会での面談

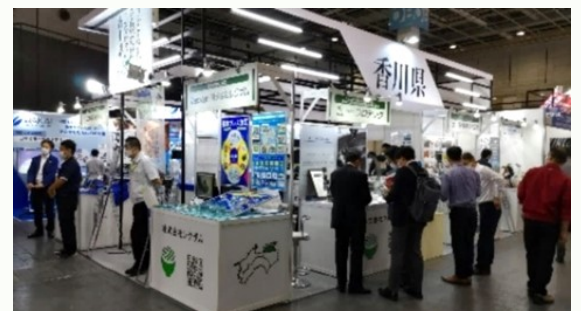
香川県・（公財）かがわ産業支援財団 受託事業

事業概要：発注開拓支援事業に係る商談機会創出支援業務
（令和4年度）

活動内容：

本事業を効果的に行うことにより、県内企業の持続的な発展と成長を支援することを目的として、以下の3業務を行う。

- ・県外大手企業の具体的な発注案件の探索及び紹介。
見積依頼、図面提示など具体的な発注案件の紹介
- ・発注につながる県外大手企業窓口の紹介や商談機会の創出。
東京・大阪等で開催される展示会への大手企業の招致等
- ・県外大手企業で開催する展示商談会の支援。



関西機械要素技術展(10/5-7、インテックス大阪))

研究会活動

エネルギー産業研究会

グリーンエネルギー、水素エネルギー、LED、2次電池に関する技術開発及び市場動向の情報収集

カーボンニュートラル、水素社会構築、次世代2次電池、燃料電池等に関する技術開発および市場動向の調査研究。

「地域産業振興センター、地方自治体との連携によるGX技術に関する調査・研究」および「エネルギー関連企業に対する支援」を中心に活動を展開しています。



四国経産局、四国産業技術振興センターの依頼による水素エネルギー研究開発センターの見学

新素材研究会

新素材の特長、メーカー等を調査し、中小企業支援活動・啓蒙活動に結び付ける

自動車のEV化に伴い車両の軽量化が要求され、これに対応する新素材、接着技術等に対する課題と動向調査等も取り組みの一つ。

対象新素材：

- ①エレクトロニクス材（炭化ケイ素、窒化ガリウム、酸化ガリウム）
- ②エネルギー関連材（電池材料）③プラスチック材（樹脂、CFRP、セルロースナノファイバーCNF、エラストマー）④金属（アルミニウム、マグネシウム、磁性材、希少金属）⑤生体材料（生体適合材料）
- ⑥無機材料（カーボンナノチューブCNT、石の紙、グラフェン）
- ⑦その他（新規のゴム、接着剤）

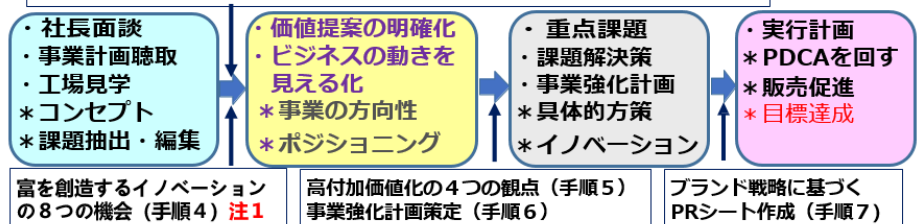
中小企業経営強化研究会

事業環境変化に対応した持続可能な事業強化計画策定支援など

実践的価値創出手法の手順と協働

HK作

コンセプト「売れるモノ・コトづくり、売る仕組みづくり」の一貫伴走型支援
社会事業環境のSWOT分析（手順1）、市場・技術動向の調査・洞察（手順2）、**改変ビジネスモデルキャンバス（改変BMCと略す）作成（手順3）**



- 注1：** 社長面談、工場見学において 観て・聴いたことの整理にもなり、イノベーション のきっかけとなる
注2： 本活動の一連を「実践的価値創出手法（注3）」と命名。本手法は 2018年初より活用中
注3： ISO 56002 イノベーション・マネジメントシステム（2019年7月）の考え方と合致
注4： 内閣府が2018年に発表した将来を構想するための思考補助ツール「経営デザインシート」は NPOクラブの「実践的価値創出手法」で十分にカバー

- ・お気軽な経営相談支援、イノベーション経営塾によるスタートアップ企業支援（伴走型支援）
- ・NPO 討論会による NPO クラブ会員の研鑽・経営強化手法の強化

研究会活動

補助金制度活用支援研究会

国（経済産業省、厚生労働省など）の各種補助金やコロナ関連の助成金の申請手続き支援

国（経済産業省、厚生労働省など）や地方自治体の各種補助金やコロナ関連の助成金の申請手続きについて、中小企業診断士の資格を持つ会員を中心に無償（交通費が発生する場合は実費負担）にて対応。

また、国の支援策の他、地方自治体の支援策につきましてもご遠慮なくご相談ください。



環境事業支援研究会

環境問題の本質や法規制の正しい理解とともに環境ビジネスへの知見を深め企業支援に結び付ける

地球温暖化によると思われる異常気象、プラスチックごみなどによる海洋汚染、水質/大気汚染、伐採による森林破壊などの環境問題、これらの課題解決のための環境関連ビジネスの市場規模は大きく、社会問題の解決に焦点をあてて2021年4月に研究会を立ち上げました。

外部講師を招いての講演や外部団体との交流などを実施するなどの活動を進める中で、事業支援の一助となるようNPOクラブ内へ情報発信するとともに具体的な企業支援活動に結び付けています。



タスクチーム

海外支援チーム

- 中小企業の海外販路開拓を応援するために、企業の英文ホームページや必要な各種文書の作成、およびNPOクラブ自身の海外ポータルサイトへの掲載を支援。
- 当クラブには多種多様な業界の企業出身者、海外駐在経験者もあり、企業からの海外販路開拓の案件毎に、分野・対象地域（海外）に最も適切な人材を加えてチームを編成して、海外進出計画の支援活動を行います。

各種展示会への企業招致、マッチング活動も行います。



タスクチーム

国内・海外ポータルサイト

国内・海外市場向け商品紹介ポータルサイトの作成

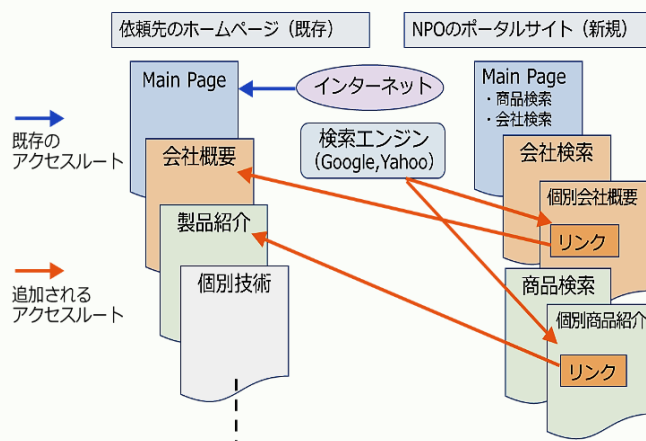
特徴：

- 実績もあり安価で提供可能
- 検索エンジン(Google,Yahoo など)からダイレクトにページに誘導
- モバイル機器(スマートフォンなど)での閲覧に適したページ構成
- ページ内容の書き換え、修正が容易
(掲載企業様毎に NPO の担当者を決めて、適切なサポート・フォローアップ)

URL：<https://japanexporting.biz/ja/kokunai.html>

海外ポータルサイト掲載のための英文翻訳や掲載費用は、市場価格に比較して破格の低価格にて、商品および会社をリーズナブルに効率よく海外へ紹介可能です。

URL：<https://www.japanexporting.biz/ja/>



自然大災害復興支援チーム

「3・11 東日本大震災」発生後から現在まで、販路・技術・マネジメントなどの支援を継続。また、毎年のように全国的に起こる自然大災害に対して、支援要請はつきず、今後も積極的に取り組む所存。

活動の範囲は、福島県中心に宮城県、佐賀県に広がり、支援内容は時間の経過とともに変化。必要な支援を関連機関や当クラブ内案件担当チームと連携しながら実施。



デジタル・イノベーション支援チーム

- 中小企業のデジタル化による改革、改善、課題解決を支援する専門家のチーム。
- 経営管理、生産現場の活動、営業活動など企業活動のあらゆる分野を対象とする。
- IT システム、クラウドの導入、IOT や AI 技術を駆使した最適な改善、改革のアドバイスや提案を提供。
- デジタル化についての入門教育。

※デジタル化について知りたい検討したいなど、ご要望やご相談は以下のアドレスまで
dx@ka-npom.com



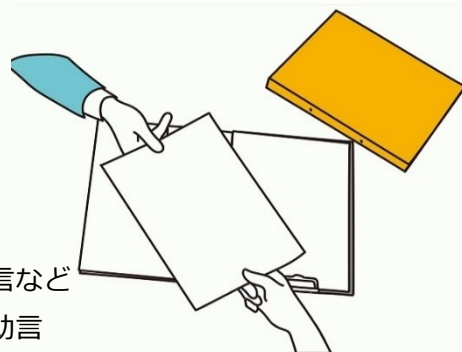
タスクチーム

事業承継支援チーム

メンバーは、事業承継の実務経験者や、弁護士、司法書士、行政書士、中小企業診断士などの専門家で構成。

支援内容は、

- ① 事業の財務状況、資産などの見える化
- ② 事業及び組織の見直し ③ 事業承継計画書の策定
- ④ 税務、後継者選び・教育、補助金・助成金等に関する助言など
- ⑤ 事業承継やM & Aがクロージング後の様々な作業等への助言



起業家支援チーム

若者や女性起業家を社会貢献として特別支援制度を活用しながら支援するもの。

2023 年度も女性・若手起業家（※）を募集し、以下の支援を実施する。

支援内容：

- ・経営指導アドバイス ・営業支援マッチング（3 回程度）

※「女性経営者」又は「若手起業家」がスタートアップした企業（または起業しようとしている方）が応募の対象。

「スタートアップ」は創業から概ね 2 年以内、「若手」は概ね 40 歳までを対象。



特定支援会員連携チーム

NPOクラブの会員制度の一つである「特定支援会員」へのサービス向上と連携強化を目的として、契約とは別に無償で以下のサービスを実施。

- Web セミナー（月 1 回）
- パネルディスカッション方式での特別セミナー
- 特定支援会員専用バナーの設置による情報提供

NPOクラブホームページのトップページに「特定支援会員専用」バナーを設置し、特定支援会員向けに経営改善にお役に立つ情報を提供。



子ども食堂支援チーム

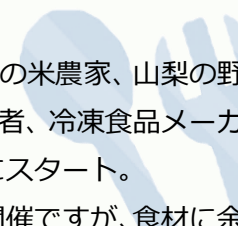
子ども食堂の取り組みは、食品ロス削減取り組みの一環として、本来自己消費あるいは廃棄されていた食材を都内の子ども食堂に提供できないかという考え方で昨年度から開始。

まず、都内のどの子ども食堂を取り上げるかについて内部検討したが、幸い料理教室や玄米粉のシフォンケーキを製造・販売している練馬区のNPO法人楽膳倶楽部が子ども食堂の運営をされていることが判明、本年 5 月分から食材

の提供を開始。

食材調達先は、宮城の米農家、山梨の野菜農家、水産・畜産卸売業者、冷凍食品メーカーの協力が得られ、順調にスタート。

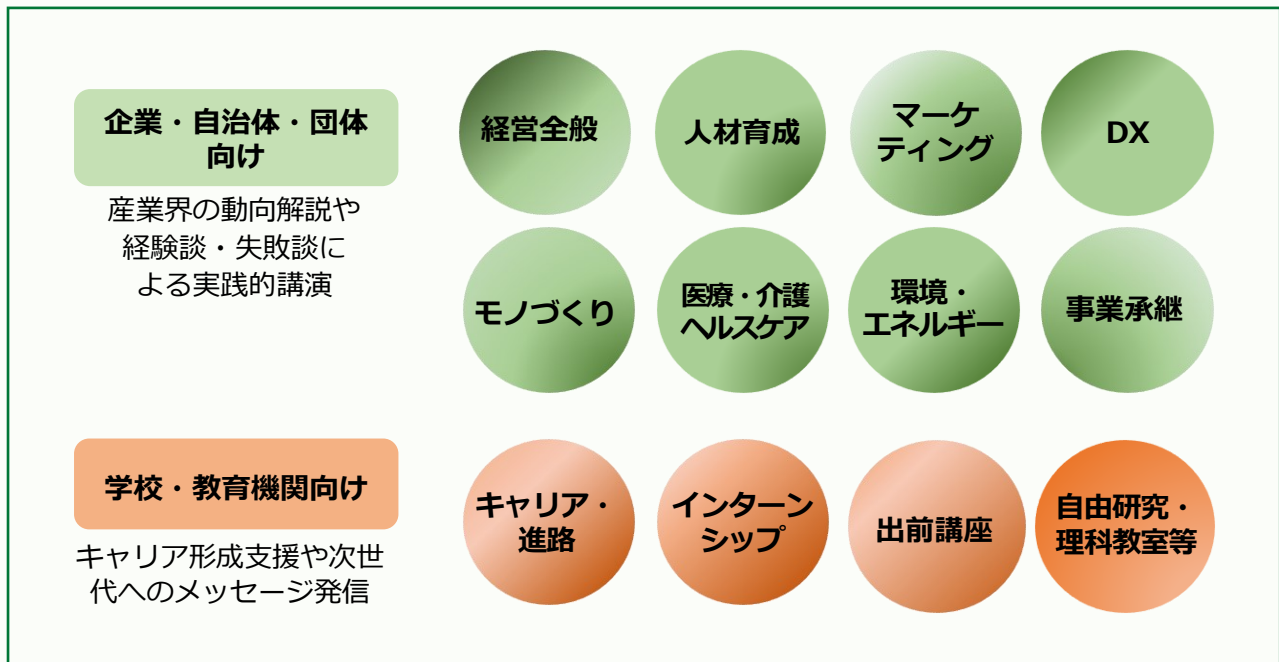
毎月第一日曜日の開催ですが、食材に余裕がある時は、楽膳倶楽部理事が運営されている子ども食堂「どんぐりの家」にも食材提供している。今後、皆様のご意見を伺いながら、内容の充実を目指す。



次世代育成支援活動

講師派遣・講演メニュー

ほとんどの業種・業界にわたって、オーダーメイドの講演・研修等が可能です。



- 講演会・研修会では、事前にニーズをしっかりと伺ってから、しかるべき講師を選定します。

最近の主な実績（企業・団体向け講演・講師派遣）

テーマ	対象	期間
小さくても勝てる企業	企業経営者・中堅幹部	90 分
人手不足・人材不足への対応事例紹介	企業経営者・中堅幹部	90 分
EV 化・軽量化対応及びカーボンニュートラルの動向と対応	中小企業経営者・中堅幹部	90 分
特許化かブラックボックス化か、意思決定のよりどころ	中小企業経営者	60 分
IOT とゲートウェイ	中小企業経営者	60 分
日本の電力源構成における原子力の位置付け	中小企業経営者	60 分
中堅社員ステップアップ研修 ～現場リーダーシップ・OJT 指導力向上～	現場若手中堅社員（厚労省人材 開発支援助成金利用による研修）	9 カ月 (12 回)
競争力強化のためのセミナーシリーズ (1)事業戦略策定の独自支援手法による事業強化 (2)中小企業のデジタル化 (3)企業競争力強化のための製品・技術の訴求力	福島イノベーション・コースト 構想推進機構支援企業	各半日

次世代育成支援活動の事例

学校・教育機関向け講座、セミナー

「サイエンスアゴラ 2021」ワークショップ概要（オンライン開催）

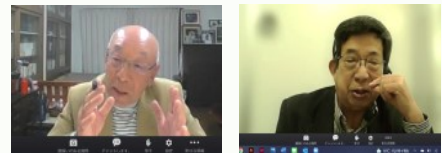
夢ある若者たち！ 今の世界、未来の世界はどうなる？！

日時：2021年11月3日(水)17:00～19:00

テーマ：Dialogue for Life「実務の達人たちの知恵
をヒントに夢ある未来を考えましょう」

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が主催する日本最大級の科学と社会をつなぐオープンフォーラムで2006年から開催。当NPOクラブは2014年に初参加以来参加。2021年度はWEB参加、2022年度は参加せず、2023年度はリアルでの出展応募中。

（2023年11月18日（土）19日（日）開催予定）



2021年に登壇した5人の達人たち

文部科学省「土曜学習応援団」（地域全体で子どもの成長を支える活動）への参加

出前授業活動としてこども霞が関デーに参加。

日時：2022年8月3日（水）、文部科学省の会議室にて。

テーマ：「私たちの地球と森林・林業」と「ちょぼきん箱を作ってみよう」



「出前授業」の開催

春日部K中学校で、一年生4クラス約120名を対象に「地球環境と森林・林業」について講義。

休憩時には林業用ヘルメット、様々な種類の丸太の輪切りや鹿の角、身近な木製製品や沖縄音階の木琴などの展示物を見て、触れて、木の育った森を感じてもらいました。



自然大災害復興支援活動の事例

これまでの活動（福幸プロジェクト）とこれからの復興支援



福島再生可能エネ・フォーラム（福島市）



福島県産品の即売会（東京）



有機米一坪地主稲刈り体験（二本松市）



果樹農家支援（石川町）

当クラブは「3.11 東日本大震災」直後の 2011 年 6 月にいち早く「福幸プロジェクト」を立ち上げて主に「福島」を中心に支援活動を開始。

現地訪問・交流、被害を受けた会社の製品販売支援、支援ツアーの実施、さらに「風評被害」等で販路を断たれた農水産物生産者の販売支援活動を長年にわたって行ってきました。

福島市では「再生エネルギーフォーラム・土湯温泉 2015」を企画・主催しました。

土湯温泉では「バイナリー発電」「小水力発電」が稼働し軌道に乗っています。バイナリー発電の温水を利用したエビ養殖事業や「どぶろく」と「シードル」

の醸造が始まり、まちおこしの活性化で、見学者も増えています。

二本松市東和地区では有機野菜の NPO 会員向け販売、有機米圃場一坪地主、桑茶の販路開拓、農家民宿活用などに取り組みました。

更に石川町では果樹農家の販路開拓、農園カフェ支援などに加えて、「農泊事業」に取り組みました。

毎年のように全国的に起こる自然大災害に対しても支援を始めています。支援内容は場所・時代とともに変化していますが、今後も被災地の中小企業・農家の販路開拓などに努めてまいります。

（公財）福島県イノベーション・コースト構想推進機構受託事業（令和 4 年度）

事業概要：福島廃炉関連産業参入企業競争力強化支援事業（廃炉プロジェクト）

活動内容：

- ・東京電力福島原発廃炉関連産業に参入しようとする福島県内企業の競争力強化支援に関わる業務
- ・当クラブ内 25 名のメンバーからなるプロジェクト

チームを編成し、計 6 社の支援を実施。

- ・廃炉関連産業は、信頼性ある技術レベルと確立された現場作業管理および高い生産性の確保が要求されるため、各支援先に対して 2 名の専属チームを作り、直接訪問支援を実施。

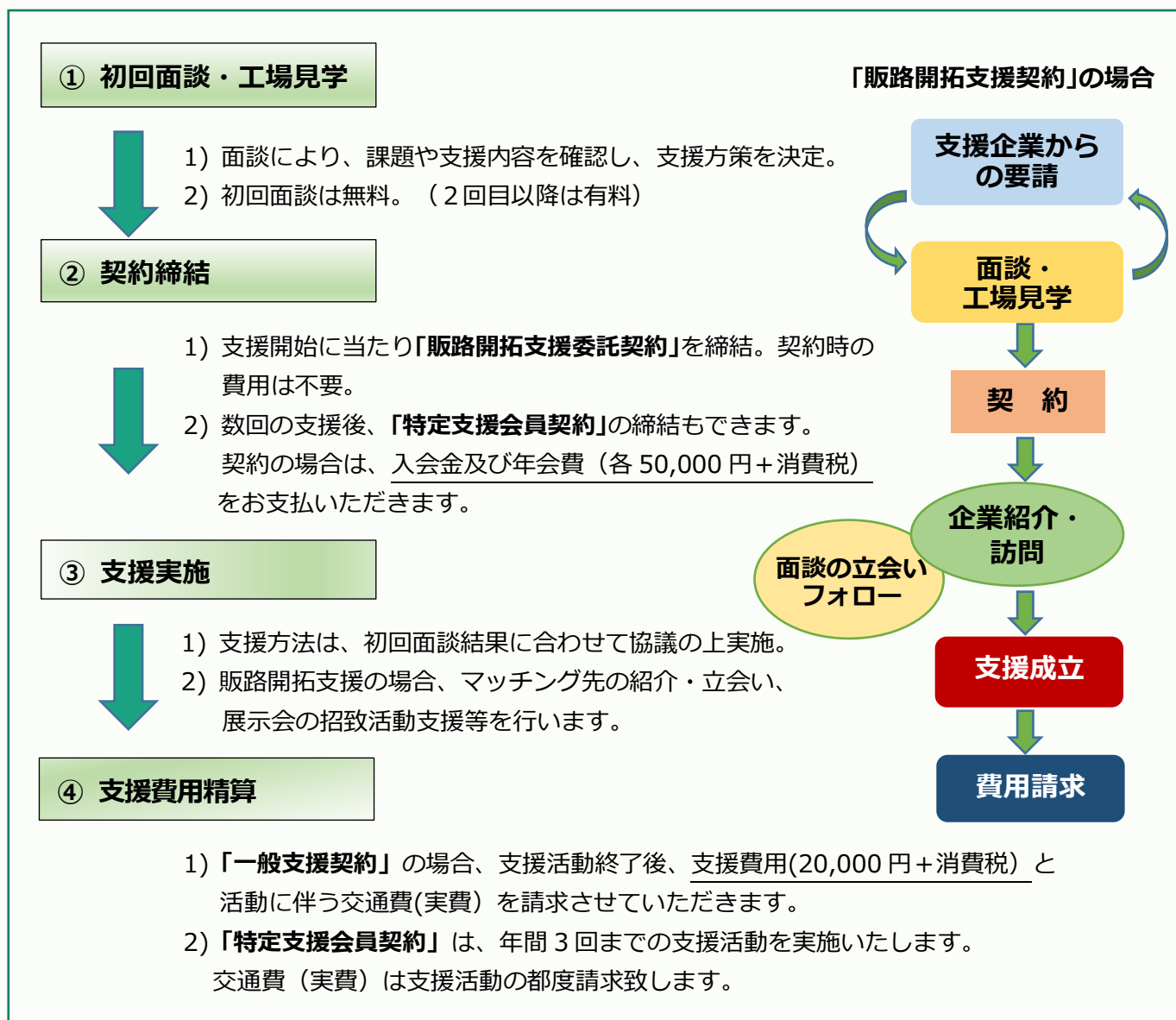


廃炉解体作業が続く 第一原発



支援企業の皆様と一緒に見学

支援活動のお申込みについて（一般支援契約・特定支援会員契約）



1. 一般支援契約企業（販路開拓支援委託契約）

目 的：企業様の要請に基づく特定企業 1 社とのマッチング

委託料：1 回当たり 20,000 円（消費税別）、交通費・宿泊費は実費負担をお願いいたします。

2. 特定支援会員（特定支援会員契約）

経営支援 N P O クラブの目的、活動の趣旨にご理解ご賛同を頂き、且つ販路開拓支援をはじめとする総合的な経営支援を要望して入会された法人・団体及び個人。

1) 入会金及び年会費：入会金 50,000 円（非課税）、年会費（一口）50,000 円（消費税別）

支援活動に付帯する正会員の交通費・宿泊代は実費をご負担いただきます。

2) 主な支援内容（一口で 3 回の下記①②の支援、複数口可能）とサービス

①販路開拓支援（販売先や仕入先企業の紹介）②事業計画策定、製品開発、製造現場改善、ICT 化、事業承継問題等々への助言・アドバイス ③特定支援会員様向け Web セミナー（月 1 回・無料）他、当クラブホームページに設定の特定支援会員様専用バナーより、様々な情報が入手可能。

会員の出身企業一覧（2023年6月現在）

【業種別・50音順】

業種	企業名
農林・水産	全農、ニッスイ、宝幸水産、マルハニチロ、三井物産フォレスト
食品	味の素、アクリフーズ、いなば食品、エスビー食品、キーコーヒー、麒麟ビール、国分、テーブルマーク（旧加ト吉）、日清オイリオ、ニチレイ、ニッスイ、日本アクセス、ハナマルキ星野物産、マルハニチロ、三菱食品、ミツカン、横浜冷凍
卸売・小売	ダイコクドラッグ、東武ストアー、阪急阪神百貨店、三越伊勢丹
商社	伊藤忠商事、川重商事、JFE 商事、神栄、双日、丸紅、三井物産、三菱商事、
医療・健康・介護、福祉	味の素、アステラス製薬、大塚製薬、オリンパス、カーディナルヘルス（日本シャーウッド）、ケアリング、資生堂、JIMRO、GEヘルスケアジャパン、ゼリア新薬、中外製薬、テルモ、パーカッションエア・ジャパン、フィリップス・ジャパン、フクダ電子、富士フイルム、ブラッツ、ライオン、リコオテクノ
繊維・パルプ・紙	東洋紡、北越コーポレーション
化学・石油	ADEKA、ENEOS、JSR、住友ベークライト、生化学工業、デンカ、東亜合成、東燃化学、日東電工、日本エア・リキード、パーカッションエアジャパン、三井石油開発、三井化学、三菱ガス化学、レゾナック（旧、日立化成）
窯業・鉄鋼・非鉄・金属	アーレスティ、神戸製鋼所、JFE、隅田加工、大和製罐、日本製鉄、プロテリアル（旧・日立金属）、
機械・工業	IHI、イーグル工業、川崎重工業、クボタ、コマツ、CKD、住友重機械工業、西島製作所、ホソカワミクロン、三井E&S（旧三井造船）
電気機器・電子機器・電子部品	アプライドマテリアルズジャパン、アムコーテクノロジージャパン、イビデン、岩崎電気、加賀電子、ソニー、デンカ、東京エレクトロン、東芝、東芝テック、パナソニック、パトライト、日立製作所、富士フイルムビジネスイノベーション（旧富士ゼロックス）、富士通、富士電機、堀場製作所、北芝電機、マクセル、三菱電機、明電舎、リコージャパン、ヨコオ
輸送・精密・その他製造	オリンパス、KYB（カヤバ工業）、コベルコE&M、サクラクレパス、凸版印刷、トヨタ自動車、日産自動車、日本信号、日本飛行機、富士フイルムビジネスイノベーション（旧富士ゼロックス）、本田技研、三菱プレジジョン
金融・保険	オリックス、セディナ、ソニー生命、日本生命、プルデンシャル生命、丸和証券、みずほ銀行、三井住友銀行、三井住友信託銀行、三菱UFJ銀行、楽天損害保険
建設・不動産	大林組、清水建設、新日本空調、竹中工務店、丹青社、千代田化工建設、間組、三井住友建設、森ビル、森トラスト
陸運・海運・空運	国際自動車、日本航空、日清物流、プラネット物流、
ホテル・観光	芝パークホテル、城山観光、日本旅行、ホテルオークラ、ホテルニューオータニ、藤田観光、
サービス・メディア	エルゴ、オータパブリケーションズ、ケアリング、廣済堂、スタジオアルタ、ZORAN、ダイヤモンド・ピーアール・センター、デジタルダイレクト、デロイトトーマツ、ともクリエーションズ、日刊現代、福島テレビ、毎日新聞社、ヤマハ音楽教室
情報通信・電力	アープ、インテル、NTT、ソフトバンク、大興電子通信、ティーガイヤ、TIS、日本オラクル、日本HP、日本テレコム、日本ユニシス、日本コンピュータシステム、みずほ情報総研、ヤフー、
その他 （官庁・大学・研究機関等） （士業）他	国土交通省、科学技術振興機構、さいたま市産創財団、ふくしま医療機器産業推進機構、宇都宮大学、大阪府立大学、昭和女子大学、帝京大学、都立学校、東京農工大学、日本生産性本部、船井総研、ベース研究所、ボストンコンサルティング、コベルコ科研、弁護士、弁理士、司法書士、行政書士、特許事務所

NPO クラブ総会・組織運営等

NPOクラブの組織図において、理事会が意思決定機関、企画委員会が理事会の委託を受け発案提言し、業務推進委員会が案件運営の実行、広報委員会が情報発信、事務局が会員の窓口全般的に運営する、という4つの柱の一つとして位置付けられています。

総会と中間報告会

通常総会は全会員を対象に年1回、毎年5月に学士会館にて開催しています。
総会後は会員同志の懇親会も行われます。
また12月には同じ会場で中間報告会が行われます。



名称	活動内容	会議開催日程
理事会	NPOクラブの意思決定・執行機関	毎月第1金曜日
企画委員会	NPOクラブの組織横断的な重要事項につき理事会から委託を受け、其の検討結果を理事会に提案。さらに各部門からの重要事項に関する要望や提言事項を検討し、其の結果を理事会に報告若しくは提言を行う。	毎月第4月曜日
業務推進委員会	案件実行チームリーダー・研究会・タスクチームリーダーおよび各グループリーダーで構成され、案件配分後の実行状況、検証及び評価等を行なうとともに各種の調整業務およびNPOクラブ業務運営の改善・改革を実施する。	毎月第2火曜日
広報委員会	NPOクラブの対外イメージ向上のために、パブリックリレーションズを担うとともに、外部への情報発信だけでなく、内部的に会員と情報を共有し、本クラブ内コミュニケーションの向上を目指す。	毎月第1月曜日

各グループ定例会、同好会等の交友・交流活動

各グループ定例会

NPOクラブには、業種別に案件担当のA～Eの5つのグループと関西グループ（P 5．P 6 参照）があり、その他に社会貢献活動の次世代育成支援グループがあります。

会員は、原則2グループに登録することができ、それぞれのグループは毎月定例会を実施しています。

（オンライン・リアル・ハイブリッド会議）

新たな地域、新たな公的機関公募案件等からの受託案件について、持ち込み案件のスクリーニング、リーダー選等を行ない、これらの受託した全案件、並びに一般案件(企業から直接受託した案件)を定例会議で、必要情報の緊密な共有化を図り、進捗管理・報告を行ないます。

また、各グループ定例会後はリアル参加した会員有志で、近くの居酒屋で懇親会を開催し、会員同志のコミュニケーションを図っています。



グループ定例会



定例会後の懇親会



関西グループ懇親会

同好会等の交友・交流活動

NPOクラブでは、有志が集まって趣味の同好会を作っています。

従前は、「ゴルフ同好会」や「囲碁クラブ同好会」「料理教室同好会」そして「関西ウォーキング会」などがありましたが、最近は「合唱クラブ」、「あるこう会」、「九州の会」などが出来て、それぞれのグループで活動しています。



ゴルフ同好会



料理同好会



合唱クラブ

同好会等の交友・交流活動、入会案内



あるこう会



九州の会



囲碁クラブ



サロンカフェ



ウォーキング会 (関西グループ)



ゴルフ会 (関西グループ)

認定特定非営利活動法人経営支援 NPO クラブご入会のご案内

企業 OB・OG の皆様、これまでのビジネス経験を中小企業支援に活かしてみませんか

現役時代に培ったビジネス経験を中小企業の経営支援や次世代育成支援に活かしてみたいというお気持ちがあり、当NPOクラブの活動理念にご賛同戴ける方は、どなたでも参加できます。最近では女性会員および若い会員も増えています。

また、勉強会やセミナーを通じて、さらなる自己研鑽の機会が豊富にあります。新しい分野の研究会・NPOサロンなど会員交流なども充実しています。クラブライフと一緒に過ごしませんか。ホームページからもお申し込みいただけます。

URL: <https://www.ka-npo.com/admission/application>

入会金 10,000 円

会費等 10,000 円（年会費 5,000 円、寄付金 5,000 円）

経営支援 NPO クラブへのアクセス

- JR 神田駅西口から徒歩7分 徒歩ルート
- 東京メトロ大手町駅から徒歩6～7分



認定特定非営利活動法人経営支援 NPO クラブ

認証番号	14 生都協市特第 1104 号 (2002 年 10 月 25 日)
認定番号	28 生都管第 1187 号 (2016 年 12 月 27 日)
	3 生都管第 1180 号 (2021 年 12 月 27 日) 更新
事務局	〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 T Kビル 1 階
電話	03-5577-6785 (月～金曜日 10 時～16 時)
F A X	03-5577-6786
e-mail	jimu@ka-npom.com
U R L	https://www.ka-npo.com



関西グループ事務所

住 所	〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-6-29 第3ユヤマビル5階A号室
電話/FAX	06-4805-6785
e-mail	kansai@ka-npom.com